

【 競技者・監督注意事項 】

1. 競技規則

この大会に適用する規則は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項で定めた規則とする。なお、抗議については、所定の用紙に20,000円を預託して監督が審判長に提出すること。

正式アナウンス後30分以内、次のラウンドが行われる競技は15分以内に行うこと。

2. 練習場所

競技開始前は、放送で使用開始を呼びかけた時(会場準備が整い次第)から8時25分までと、開始式終了後から9時15分まで競技場内を開放する。それ以外はサブトラック及び競技場周辺で行うこと。

ジャベリックボール投げの練習は、競技場内に引率後のピットでの練習のみとする。

また、競技開始前の競技場内のトラックのレーン使用は、以下のとおりとする。

- | | |
|-----------------------|--|
| 1～2レーン | → 長距離周回・ジョグ(ウオークはトラック外側を使用) |
| 3～7レーン(ホームストレート) | → スタート練習 |
| 8レーン(ホームストレート) | → ハードル練習 |
| 3～8レーン(コーナー・バックストレート) | → 流し・リレー練習
(リレー練習は大人が近くで安全管理を行ってください) |

3. 招集時間

- ①トラック競技は競技開始時刻30分前開始、15分前完了とする(20分前にアスリートビブスを確認)
- ②フィールド競技は競技開始時刻45分前開始、30分前完了とする(35分前にはアスリートビブスを確認し、役員の引率により競技場内で練習)

4. 選手受付

- ①選手受付は所定の出入り口を利用し、あらかじめ準備された用紙のナンバーに自分で○をする。
- ②招集完了時刻に、競技者係は出場する選手のアスリートビブス番号、アスリートビブスの結着状態、スパイクのピン等を確認し、最終コールとする(9mm以下の平行ピンのみ使用可)。
- ③選手の招集完了後は、勝手に移動しないで係員の指示に従うこと。
- ④選手・監督以外の招集所への出入り及び代理の点呼は認めないが、事情がある場合は競技者係に申し出ること。

5. 注意事項

- ①リレー競技のオーダー用紙は招集所で1チーム1枚受け取り、招集完了時刻1時間前までに招集所の競技者係に提出する。その際に、100m友情レースに出場する選手の名前も一緒に提出すること(招集所に備え付けの友情レース個票による)。
- ②アスリートビブスは、プログラム記載どおりの番号を胸と背に付けること。ただし、跳躍競技は胸または背のどちらか一方でもよい。
- ③アスリートビブスの大きさは、横24cm以内×縦16cm以内とする。

6. スタート

- ①トラック競技における不正スタートは旧ルールを採用し、2回行った選手が失格となる。
- ②スタートはイングリッシュ・コールとする。
- ③短距離種目はすべてクラウチングスタートとする。スターティングブロックを使用しない場合は、スタート前に出発係に申し出ること。

7. コンバインド種目

- ①コンバインド A は「80mハードル・走高跳」、コンバインド B は「走幅跳・ジャベリックボール投げ」のそれぞれ2種目とし、得点表による2種目の合計点で順位を競う。
- ②コンバインド種目の走幅跳とジャベリックボール投は2回の試技を行い、上位記録をその得点とする。また、走高跳は2回続けて失敗すれば試技を終了する。

- ③コンバインド種目の走高跳・ジャベリックボール投・走幅跳は男女一緒に行うものとし、最初に女子、その後に男子が試技を行う。
- ④コンバインド種目は2種目とも招集所で点呼を行う。

8. コンバインドA／80m ハードル

台数	高さ	スタートから第1ハードルまでの距離	ハードル間の距離	最終ハードルからゴールまでの距離
9台	70cm	13m	7m	11m

9. コンバインドA／走高跳（練習は95cmで行う）

男子 1m ~ (5cm) 1m25cm - 1m28cm - 1m31cm 以上 3cm ずつ上げる
 女子 1m ~ (5cm) 1m15cm - 1m18cm - 1m21cm 以上 3cm ずつ上げる

- ①走高跳ははさみ跳びとし、足裏以外で着地した場合は無効試技となる。
- ②練習及び最初の高さは、競技者や天候の状況により変更することがある。

10. コンバインドB／ジャベリックボール投

- ①ジャベリックボール投のボールは、大会主催者で準備した公認ジャベリックボールを使用する。
- ②ジャベリックボール投は、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで行う（羽部分は不可）。

11. リレー競技

- ①男子2名、女子2名の混合チームとする（補欠は男女各1名まで）。
- ②走順は男子2名・女子2名であれば自由とする。
- ③リレー競技のテイクオーバーゾーンは30mとする。
- ④リレー競技のユニフォームは全員同じものを着用する。ただし、デザイン・配色が同一である場合及び男女の型の違いは認めるものとする。
- ⑤バトンパスの際に使用するマーカーは各自準備し、使用後はチームで撤去する（マーカーは白のテープとし、5cm×2cm以内で、1か所だけの使用を認める）。
- ⑥マーカーは、レーン内側の線に触れないように使用する。

12. その他

- ①タイムによる決勝進出者の決め方は、同タイム（1/1000 秒まで測定）の場合は順位を優先とし、予定者数を超えた場合は抽選で決定する（抽選は当該選手が行う）。
- ②600m 以上の種目は、すべてオープンレーンで行う。
- ③プログラムの選手が欠場した場合は、レーンを空けたまま競技を行う。
- ④3・4年生のスパイクシューズ使用は、発達段階を考慮して認めない（ピンを抜いたスパイクシューズも使用できない）。
- ⑤セパレートレーンで行われる種目については、フィニッシュ後も自分のレーンに沿って走ること（他選手と衝突の恐れがある）。